



平成24年3月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 極 洋
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 多 田 久 樹
(コード番号 1301 東証第一部)
問 合 せ 先 企 画 部 長 上 島 幹 雄
(TEL 03-5545-0703)

次期中期経営計画『パワーアップキョクヨー2015』(2012年度～2014年度)
について

株式会社極洋は、2012年4月から2015年3月に至るまでの当社グループ中期3ヵ年経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

I. 現中期経営計画(2009年度～2011年度)について

現在の中期経営計画『キョクヨーグループ チャレンジ2012』は、当社グループの有する独自性・優位性を一層強化し、既存事業の収益安定化を確固たるものとするとともに、成長の期待される関連分野への積極的姿勢を明確に致しました。この計画期間において、国内ではM&Aによるグループ化や養殖事業会社の立ち上げなど計4社を、海外では資源アクセスの確保の為2社を新たに設立し、事業規模を拡大しております。一方冷蔵運搬船事業は、欧州経済の低迷、気候変動の影響により事業環境が大きく変化しております。

次期中期経営計画では、これまでの積極投資の効果を最大限引き出し、目標の実現に向け推進して参ります。

II. 次期中期経営計画（2012年度～2014年度）の基本方針と計画数値

次期中期経営計画は、『パワーアップキョクヨー2015』と名付け、「キョクヨーグループの優位性を強化、拡充し、安心・安全で競争力のある商品の提供により、グループ企業価値の最大化を実現する」ことを基本目標としています。方針としては、『加工戦略』、『グローバル戦略』を更に深化させると共に、現中期経営計画において26社となったグループ会社間の相乗効果を最大限に発揮する為、新たに『シナジー戦略』を加え目標の達成に向けて取り組んで参ります。

さらに、財務体質の強化を図り、自己資本比率の向上、キャッシュフローの改善、有利子負債やリスク資産の削減に取り組むと共に、環境に配慮した経営の徹底、災害時における事業継続計画（BCP）の策定等を通じて企業価値の向上に努めて参ります。

連結経営目標としては、次の通りとなっております。

最終年度（2015年3月期）数値目標

| | |
|-------------------|---------|
| 売上高 | 2,000億円 |
| 営業利益 | 50億円 |
| ROE（自己資本当期純利益率） | 10% |
| 自己資本比率 | 30% |
| D/Eレシオ（有利子負債資本倍率） | 2倍以内 |

〔セグメント別計画数値〕

（単位：億円）

| セグメント | 水産商事 | 冷凍食品 | 常温食品 | 鰹・鮪 | その他 | 合計 |
|-------|------|------|------|-----|-----|-------|
| 売上高 | 950 | 550 | 150 | 300 | 50 | 2,000 |
| 営業利益 | 21 | 12 | 4 | 12 | 1 | 50 |

Ⅲ. セグメント別施策

1. 水産商事事業

水産商事事業においては、これまで培ってきた水産物についての豊富な経験と国内外サプライヤーとの持続的な関係強化により、質の高い水産物の安定的な供給を維持して参ります。また安心・安全な商品の開発を徹底して推し進め、お客様のニーズを的確に捉えた高付加価値製品の取扱いを高めて参ります。更に欧米・東南アジアの海外現地法人のネットワーク化により三国間貿易の取り組みを強化し、海外マーケットの深耕を図るなどして、資源調達力及びグループ内の協業体制の強化を図ります。

在庫管理面につきましては、適正な在庫水準を維持し一層の収益安定を目指します。

2. 冷凍食品事業

冷凍食品事業においては、市販冷食分野への進出を目指し新たなブランド作りを進めると同時に、マーケット対応商品の開発や生産技術のレベルアップを図り、事業展開のフィールドを広げて参ります。また当社の強みである寿司関連事業の強化を図る為にアジア等での生産拠点の開拓を進め、海外展開を進めている取引先との一層の連携を図って参ります。同時に、海外を含む新たな販売チャネルを広げるマーケット戦略を進めて参ります。

生産部門については、国内直系工場の再構築と生産拠点の分散化による供給体制リスクを軽減して参ります。

3. 常温食品事業

缶詰事業においては、国内外の加工拠点の確保に努め、加工部門の基盤の安定化を目指します。また海外加工品の拡充により価格対応力を強化し、原料や生産拠点をグローバルに展開することにより、競争力のある商品開発を目指します。更に海外まき網事業との協業による調達から販売までの一貫した取り組みを行い、安心・安全な商品の供給を進めて参ります。

珍味加工品事業においては、当社の強みを生かした幅広い製品アイテムの拡充を図って参ります。またお客様に直接お届け出来るネット販売を充実させ、新たな販路拡大につなげて参ります。

4. 鯉・鮪事業

加工販売事業においては、高付加価値商品の開発に努めるとともに、国内及び海外生産拠点の整備拡充を進めて参ります。

海外まき網事業においては、鯉鮪資源アクセスを重視し、島嶼国との連携により事業拠点を広げて参ります。また所有船舶を効率的に運航し品質の高い漁獲生産を行って参ります。

養殖事業においては、本鮪出荷1,000トン体制を目標に事業場の拡大を進め、他社との協業による完全養殖事業を軌道に乗せるべくノウハウの蓄積に努め、獲る漁業とつくる漁業を両輪とした、鯉・鮪事業の新たな展開を進めて参ります。

5. その他事業

冷蔵庫事業は、積極的な集荷とサービスの向上、業務品質の改善及び増庫対策を進め、安定収益の確保を目指して参ります。

冷蔵運搬船事業は、欧州の景気低迷が続くなか、荷動きの停滞、運賃市況の悪化、フルーツ産地の不作など、ここ数年厳しい環境に置かれており、市場規模に合った船隊へスリム化を進め、収益の確保に努めて参ります。

以 上